

令和4年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	対象学年	単位数	教科書	使用教材
普通科・福祉教養科	家庭	家庭総合	全	4	家庭総合 自立・共生・創造(東京書籍)	なし
目標と評価規準	関心・意欲・態度	人の一生、生活全般などについて関心をもち、その充実向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。				
	思考・判断・表現	人の一生、生活全般などについて見直し、生活課題を主体的に解決するために思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身に付けている。				
	技能	人の一生、生活全般などに関する基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けている。				
	知識・理解	人の一生、生活全般などに関する基礎的・基本的な知識を総合的に身に付けている。				
学期	月	単元	学習内容		到達度目標	
前期	4月	家庭科オリエンテーション	家庭総合を学ぶにあたって		・学習の意義や内容を理解する。	
		自分らしい人生をつくる	1.生涯発達の視点	・各ライフステージの特徴と課題を理解する。		
			2.青年期の課題	・生涯発達の観点から今の自分を客観的にみつけ、職業選択も見通す。		
	3.目標を持って生きる					
	4.人生をつくる		・家族責任を男女で担い、協力し、ささえあう家族関係の重要性を理解する。			
	5.家族・家庭を見つめる		・家族・家庭に関する法律と現在の社会の状況を理解する。			
	6.これからの家庭生活と社会		・家事労働・職業労働について知り、ワーク・ライフバランスについて考える。			
	生活を設計する	生涯を見通す		・自分の目指すライフスタイルを考え、高校卒業後の生活設計を立てる。		
	5月	経済生活を営む	1.職業生活を設計する	・高校卒業後の経済的自立と職業について主体的に考える。		
			2.計画的に使う	・家計管理の重要性を認識する。		
			3.国民経済・国際経済と家庭の経済生活	・経済社会と家計との関係を理解する。		
	4.現代の消費社会		・契約、多様な販売方法や支払い方法、問題商法について理解し、被害にあった場合の解決方法を考える。			
5.消費者の権利と責任	・消費者には権利と責任があることを理解する。					
6.これからの消費生活と環境	・資源・環境に配慮した生活を考える。					
6月	住生活をつくる	1.住生活について考える	・平面図の基礎知識を得て、間取りを理解する。			
		2.住生活の計画と選択	・ライフスタイルやライフステージに応じた住居を考える。			
		3.住生活の文化と知恵	・気候風土に応じた住様式があることを認識する。			
		4.これからの住生活	・地域社会とのつながりの重要性を理解し、持続可能な住生活を考える。			
7月	食生活をつくる	1.食生活について考える	・自分自身の食生活を振り返り、問題点を考える。			
		調理実習1(日本料理の基本)	・調理室の使い方、調理器具の準備・整備について学び、日本料理の基本的技術を身に付ける。			
		2.食事と栄養・食品	・五大栄養素のはたらきと多く含む食品の栄養的特質や調理上の性質を理解する。			
		調理実習2(洋風料理の基本)	・洋風料理の基本的技術を身に付ける。			
		調理実習3(中国料理の基本)	・中国料理の基本的技術を身に付ける。			
		3.食生活の安全と衛生	・食品衛生について学び、食品を衛生的に取り扱うことができる。			
		4.生涯の健康を見通した食事計画	・食事摂取基準や食事バランスガイドを用い、バランスのよい食事を計画できる。			
調理実習4(洋風料理の基本)	・洋風料理の基本的技術を身に付ける。					
調理実習5(中国料理の基本)	・中国料理の基本的技術を身に付ける。					
5.調理の基礎	・食生活の自立に必要な基本的な調理技術を学び、日常食を作る。					
6.食生活の文化と知恵	・日本や地域の食文化を見直し、主体的に継承できるようになる。					
7.これからの食生活	・日本の食糧事情の実態と問題点を理解する。					
9月	ホームプロジェクト	ホームプロジェクト計画		・ホームプロジェクトの課題を見つけ、夏季休業に調査・研究を行うための計画を立てることができる。		
		ホームプロジェクト発表・評価		・ホームプロジェクトを実行した結果を振り返り、今後の課題を考えることができる。		
後期	10月	子どもと共に育つ	1.命を育む	・出産前後の健康管理と胎児の発達を知る。		
			2.子どもの育つ力を知る	・乳幼児期の心身の発達の特徴をまとめることができる。		
			3.親として共に育つ	・子どもの生活習慣形成や遊びの意義、食生活・衣生活の特徴を理解する。		
			4.子どもとの触れ合いから学ぶ	・保育人形の世話を通して、愛着の形成と親としての成長を理解する。		
			5.これからの保育環境	・子どもを取り巻く社会変化の現状について理解する。		
	11月	高齢社会を生きる	1.高齢期を理解する	・高齢社会の現状と課題を理解する。		
			2.高齢者の心身の特徴	・高齢者の心身の変化や生活の特徴を理解する。		
			3.高齢者を支える	・高齢者を支援する方法を具体的に学ぶ。		
	4.これからの高齢社会	・高齢者の福祉について学び、高齢者を支える制度と課題を考える。				
	共に生き、共に支える	1.私たちの生活と福祉	・一生を通じた福祉や社会的支援の必要性を知る。			
		2.共に生きる	・多様なニーズ、ノーマライゼーションの理念を理解し、ユニバーサルデザインを考える。			
		3.社会保障の考え方	・社会保障制度の理念と内容を学ぶ。			
12月	衣生活をつくる	1.被服の役割を考える	・被服の機能を理解し、健康で快適な着装について考える。			
2.被服を入手する		・衣素材の種類と性能、繊維の種類と特徴について理解し、用途に応じた素材の選択ができる。				
3.被服を管理する		・被服に適した洗濯や保管方法がわかる。				
4.被服を作る		・被服製作の基本的事項を確認し、自分に合った被服の制作ができる。				
1月	2月	5.衣生活の文化と知恵	・日本の衣生活の文化を知り、現代の生活に活かすことができる。			
6.これからの衣生活		・購入、再利用、廃棄などを考慮に入れた衣服の必要性を理解し、生活に活かすことができる。				